

<暮らしの夢から“かたのサイズ”をめざす像までの流れ>

暮らしの夢

9. 地球環境に思いをはせ、我がまちは我が手で守る暮らし

私の学校では、5年生になると植樹と散策路整備、施設の花壇づくりの活動をする。花壇には給食センターでできる生ごみでつくった堆肥を利用する。散策路から持って帰ってきた枯れ枝は、学校の地域交流スペースにある暖炉の燃料にする。活動は楽ではないけど、山もまちもきれいになると同時に、省エネにもなるということを知った。

家でもできることをお母さんと一緒にやっている。

(小学5年生)

私は、今年、やっと自分の家を建てることができた。環境負荷を少なくするための工夫をいろいろといれてもらった。

自家発電もその一つだが、夏場に風をうまく取り入れる間取りにはかなり満足している。緑化にも気を配った。わが家でできる生ゴミを堆肥にして花や野菜を育てている。

(40歳代女性)

私は、普段、家事を妻にまかせているので、せめてごみになるものを買わない、食べ残しはしない、電気はこまめに消す、などに気をつけている。

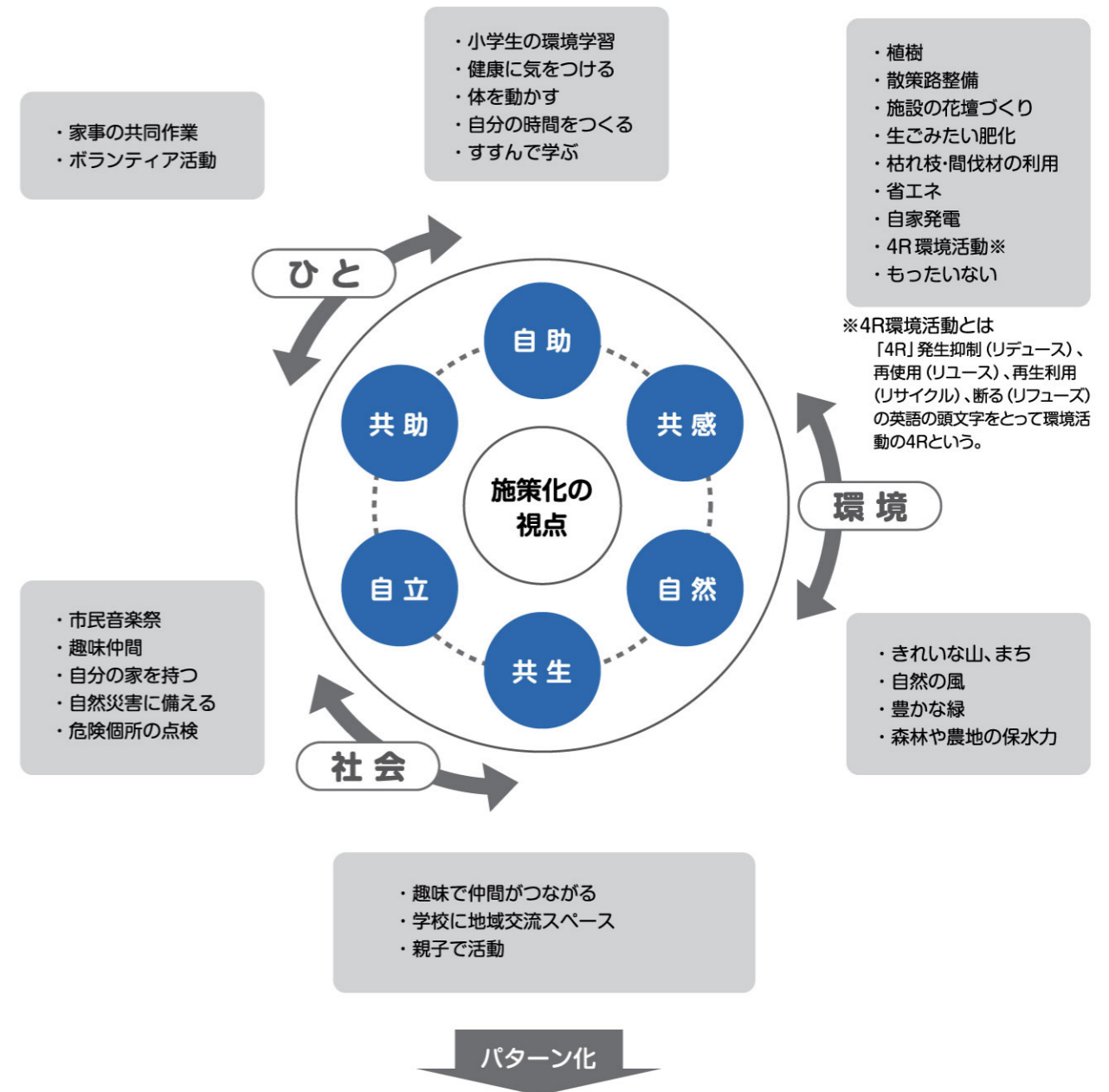
駅までは、歩くことにして、メタボにならないようにも心がけている。

(ビジネスマン)

会社を退職して時間ができたので、環境についての勉強を本格的に始めた。それとともに、ボランティアで清掃をしたり、里山の整備をする活動に参加するようになった。

溝掃除は大雨の際のオーバーフローを防ぐ。里山管理は、森林の保水力を高め、ヒートアイランドの緩和につながる。危険箇所の定期点検の役にもなっている。

(退職した方)



No.	“かたのサイズ”をめざす像
7	マナーを守り、周りに迷惑になることをしないよう心がけている
10	ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある
45	まち中の身近な空間で、うるおいづくりに取り組んでいる
51	山も里も四季折々の景観が楽しめ風情を感じる
64	公害のない心地よく住める環境を守っている
65	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている
66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている
67	火災や事故、犯罪が少なく安心である
68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている